

第4回定例会 予算決算委員会（全体会） 会議録

日 時 令和5年12月13日（水曜日）

午前11時35分開会、午後0時10分閉会

場 所 第1委員会室

日 程

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 審査内容

議案第 88号 令和5年度土浦市一般会計補正予算（第7回）

議案第109号 令和5年度土浦市一般会計補正予算（第8回）

4 閉 会

出席委員（21名）

委員長	平石 勝司
副委員長	矢口 勝雄
委 員	古沢 喜幸
委 員	吉田 千鶴子
委 員	海老原 一郎
委 員	小坂 博
委 員	鈴木 一彦
委 員	下村 壽郎
委 員	今野 貴子
委 員	島岡 宏明
委 員	勝田 達也
委 員	目黒 英一
委 員	奥谷 崇
委 員	福田 勝夫
委 員	平岡 房子
委 員	根本 法子
委 員	田中 義法
委 員	滝田 賢治
委 員	吉田 直起
委 員	菅井 歩美
委 員	柳澤 健二

欠席委員（３名）

委 員	竹内	裕
委 員	寺内	充
委 員	篠塚	昌毅

説明のため出席した者（１２名）

市長公室長	船沢	一郎
総務部長	塚本	哲生
市民生活部長	真家	達成
保健福祉部長	羽生	元幸
こども未来部長	平井	康裕
産業経済部長	佐藤	亨
都市政策部長	塚本	隆行
建設部長	渡辺	善弘
教育部長	望月	亮一
消防長	檜山	保明
議会事務局長	櫻井	良哉
財政課長	山口	正通

事務局職員出席

次 長	天貝	健一
次長補佐	小野	聡
主 査	津久井	麻美子
主 査	松本	裕司
主 幹	高橋	陽平

傍聴者（０名）

○平石委員長 ただ今から、予算決算委員会を開会いたします。本日は、本定例会において、当予算決算委員会へ付託されました議案第88号令和5年度土浦市一般会計補正予算（第7回）、議案第109号令和5年度土浦市一般会計補正予算（第8回）の内、歳入についての審査を行います。この全体会での質疑は、歳入についての質疑のみでお願いいたします。歳出については、各分科会に分かれて審査をしていただきます。また各分科会終了後、再度、予算決算委員会の全体会を開催し、予算決算委員会としての結論をまとめますので、よろしくお願いいたします。早速ですが審査に入ります。サイドボックス、本会議、令和5年、第4回定例会、事前配付資料、議案第79号～第107号を御準備願います。それでは、議案第88号令和5年度土浦市一般会計補正予算（第7回）～第1表歳入歳出予算補正中歳入全部を議題といたします。執行部より説明願います。

○山口財政課長 私のほうからは、今回の補正予算の歳入について、議案書を使って説明させていただきます。議案書の47ページをお願いいたします。第1表歳入歳出予算補正の歳入でございます。今回の歳入の補正予算では、当初予算に見込めなかった事業費等の財源として、国庫支出金、県支出金、寄付金、繰入金、合わせて9,189万8,000円を増額計上し、総額を601億9,605万7,000円とするものです。内容につきましては52ページをお願いいたします。16款国庫支出金、1項国庫負担金につきましては、合計欄の補正額にありますように、89万9,000円を増額計上するものです。1目民生費国庫負担金につきましては、説明欄にありますように、産前産後保険料負担金でございまして、子育て世帯の負担軽減、次世代育成支援を目的として、国民健康保険の被保険者に係る産前産後期間相当分、単胎妊娠は4か月、多胎妊娠は6か月分の均等割及び所得割保険税を免除することに伴い、その財源の一部が国庫負担となることから、国庫負担金を計上するものです。2目衛生費国庫負担金は新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金でございまして、ワクチン接種に伴い健康被害を受けた3名の認定者に対する救済給付費用を歳出予算として補正計上しており、同費用は全額国庫負担となることから、その財源として国庫負担金を計上するものです。16款国庫支出金。1目総務費国庫補助金につきましては、2項目ございます、1項目めの社会保障・税番号制度システム整備費補助金は、住民票等への氏名の振り仮名記載、マイナンバーカードへの振り仮名及びローマ字表記を実施するための住民基本台帳システム、戸籍附票システムの改修に伴う委託料を計上しており、同事業は全額国庫補助で賄われることから、その財源として国庫補助金を計上するものです。2項目めの観光振興事業費補助金は、インバウンドに対応したサイクリング環境の整備を図るため、JR土浦駅に多言語案内表示を設置するための委託料を増額計上しており、同事業は国庫補助対象であることから、その財源として国庫補助金を増額計上するものです。2目民生費国庫補助金につきましては、生活保護適正化等事業費補助金でございまして、被保護者調査の調査項目追加に係るシステム改修に伴う委託料を増額計上しており、同事業は国庫補助対象であることから、その財源として国庫補助金を増額計上するものです。7目教育費国庫補助金、2節小学校費補助金、3節中学校費補助金につきましては、小中学生へ

の特別支援教育就学奨励費補助金でございまして、１０月から実施されている給食費の無償化に伴い、給食費に相当する特別支援教育就学奨励費を減額計上しており、同事業は国庫補助対象であることから、その財源としていた国庫補助金を減額計上するものです。１６款国庫支出金、４項国庫交付金につきましては、補正予算額の計の欄にございますように、２５２万円を増額計上するものです。２目民生費国庫交付金につきましては、２項目ございます。１項目めの子ども・子育て支援交付金は、今年度から新たに、めぐみ保育園が体調不良時対応型の病児、病後児保育事業を実施していることに伴い、保育施設等への補助金を増額計上しており、同事業は国庫交付金の対象事業であることから、その財源として国庫交付金を増額計上するものです。２項目めの就学前教育・保育施設整備交付金は、めぐみ保育園が分園を整備することに伴い、整備費に係る補助金を増額計上しており、同事業は国庫交付金の対象事業であることから、その財源として国庫交付金を増額計上するものです。１７款県支出金、１項県負担金、１目民生費県負担金につきましては、先ほど国庫負担金のところで御説明いたしました、国民健康保険の被保険者に係る産前産後期間相当分の均等割及び所得割保険税を免除することに伴い、その財源として県負担金１７万８，０００円を計上するものです。１７款県支出金、２項県補助金、５目商工費県補助金につきましては、わくわく茨城生活実現事業費補助金でございまして、東京圏から本市に移住し、新たに就業・起業・テレワーク等を行う方に対して交付する移住支援金の申請者の増加に伴い、移住者への補助金を増額計上しており、同事業は、県の補助対象であることから、その財源として県補助金２，２１２万５，０００円を増額計上するものです。５３ページをお願いいたします。１７款県支出金、４項県交付金、２目民生費県交付金につきましては、子ども・子育て支援交付金でございまして、先ほどの国庫交付金と同様に、めぐみ保育園が、今年度から体調不良時対応型の病児、病後児保育事業を実施していることに伴い、保育施設等への補助金を増額計上しており、その財源として県交付金を増額計上するものです。１９款寄付金、１項寄付金、５目衛生費寄付金につきましては、健康づくりや暮らしの充実に向けた取り組みに対して寄付をいただいたことから、寄付金７３万８，０００円を計上するものです。なお、同寄付金は、健診や調理実習等で必要な物品の購入費用に充当する予定です。２０款繰入金、２項基金繰入金につきましては、合計欄の補正額にありますように、６，１０６万８，０００円を増額計上するものです。１目財政調整基金繰入金につきましては、今回の一般会計補正予算において、歳出が歳入を上回ったことにより、財源に不足が生じることから、不足分を財政調整基金から繰り入れるものです。３目協働のまちづくり基金繰入金につきましては、市民活動団体が行う自主的なまちづくり活動を支援する提案型共助社会づくり支援事業において、該当する事業者がなかったことに伴い、事業者への補助金を減額計上しており、同事業の財源としていた協働のまちづくり基金からの繰入金を減額計上するものです。議案第８８号土浦市一般会計補正予算（第７回）の歳入予算補正の説明につきましては、以上でございます。

○平石委員長　ありがとうございました。それでは委員の皆様から御質問等ございますでしょうか。

○古沢委員 17款県支出金のわくわくいばらき生活実現事業費補助金の増ってありますけどこれは人数に制限はないんですか。

○山口財政課長 こちらはですね県事業となっております、県の補助金の額の方が定められておりますので、その額によってですね制限があるというものでございます。以上でございます。

○古沢委員 例えば、今年度は80名近くですね。

○山口財政課長 今年度はですね3,940万円というのが土浦市に割り当てられている金額となっております、これは県内の全自治体にですね割り当てられているものですから、本市への移住者が多くなればですね、ある程度の金額が割り振られることにはなりますけれども、あくまで県の予算の範囲内ということでございます。以上でございます。

○平石委員長 その他ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 それではないようでございますので、ここで賛否を確認させていただきます。この予算の歳入について、賛成とする方は挙手をお願いいたします。

【挙手：全員（20名）】

○平石委員長 全員賛成でございます。議案第88号の歳入については、全員賛成ということでございます。それでは次の予算決算委員会全体会までに、歳入についての報告書をまとめて参ります。つきまして報告書に盛り込みたい内容等でございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 ないようでございますので、続いて議案第109号になります。資料はサイドボックス、本会議、令和5年、第4回定例会、事前配布資料の議案第108号から109号御準備をお願いをしたいと思います。それでは議案第109号令和5年度土浦市一般会計補正予算第8回、から第1表歳入歳出予算補正中歳入全部を議題といたします。執行部の説明をお願いいたします。

○山口財政課長 私の方からは、今回の補正予算の歳入について、議案書を使って説明させていただきます。議案書の9ページをお願いいたします。第1表歳入歳出予算補正の歳入でございます。今回の歳入の補正予算では、11月29日に成立いたしました国の補正予算に伴い、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に係る事業費の財源として国庫支出金を増額計上、財源更生などにより繰入金を減額計上、合わせ14億3,425万4,000円を増額計上し、総額を616億3,031万1,000円とするものです。この重点支援地方交付金は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を目的とするもので、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことを踏まえ、感染症との関連は要件としないこととされております。また、今回の交付金は、物価高に最も苦しんでいる低所得者の生活を守るために措置された「低所得世帯支援枠分」と、地方自治体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施するための「推奨事業メニュー分」に分かれており、本市への交付の限度額は、低所得世帯支援枠分が8億8,548万6,000円、推奨事業メニュー分が2億2,71

6万8,000円となっております。内容につきましては13ページをお願いいたします。16款国庫支出金、4項国庫交付金につきましては、合計欄の補正額にありますように、15億959万5,000円を増額計上するもので、全額が重点支援地方交付金です。2目民生費国庫交付金、1節社会福祉費交付金につきましては、重点支援地方交付金のうち低所得世帯支援枠分です。電力、ガス、食料品等の価格高騰に直面する低所得世帯に対して、一世帯当たり7万円を給付するための補助金及び給付に係る通知文等の郵送料、システム改修、人材派遣に係る委託料などの事務費を歳出予算として補正計上しており、同費用は全額重点支援地方交付金で賄われることから、その財源として国庫交付金を計上するものです。これ以降は、推奨事業メニュー分となります。事業費の7割に重点支援地方交付金を充当し、交付金の残額については、給食費の無償化分に充てることとしております。2節障害者福祉費交付金につきましては、光熱費、食材料費等の価格高騰の影響を受けている、市内の障害福祉サービス事業所等の負担軽減を図り、安定的、継続的な運営ができるよう、光熱費等の物価高騰分の一部を支援するための補助金の財源として、3節老人福祉費交付金につきましては、先ほどの障害福祉サービス事業所等への助成同様、市内の介護サービス事業所及び老人福祉施設の負担軽減を図り、事業継続を支援するための補助金の財源として、4節児童福祉費交付金につきましては、2項目ございまして、1項目めは、市内9か所の子ども食堂に対して、物価高騰下でも子ども食堂の利用料金を増額することなく食事の提供を継続できるよう、食材費等の価格高騰分を支援するための補助金の財源として、2項目めは、市内の民間保育施設等に対して、保護者負担を増額することなく給食の提供を維持できるよう、食材費の価格高騰分を支援するための補助金の財源として、3目衛生費国庫交付金につきましては、障害福祉、高齢者福祉施設への助成同様、物価高騰の影響を受けている、市内の医科、歯科、薬局などの医療機関等の負担軽減を図るため、光熱費等の物価高騰分の一部を支援するための補助金の財源として、5目商工費国庫交付金につきましては、原油価格高騰による燃料費の上昇の影響を受けている、市内に事業所を有する道路貨物自動車運送事業者の負担軽減を図り、事業継続を支援するため、1事業者あたり5万円及び車両1台当たり1万5,000円を支給するための補助金の財源として、6目土木費国庫交付金につきましては、先ほどの運送事業者への助成同様、路線バス、貸切バス、タクシー、運転代行など、市民の重要な移動手段を確保、維持するため、運行継続に努めている地域交通関連事業者に対し、事業継続を支援するための補助金の財源として、それぞれ、重点支援地方交付金を計上するものです。7目教育費国庫交付金につきましては、子育て世帯の負担軽減を図るため10月から実施している、土浦市立の小学校、中学校、義務教育学校の児童生徒の給食費の無償化分の財源について、重点支援地方交付金の残額を充当する財源更生を行うものです。20款繰入金、2項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金につきましては、給食費の無償化分の財源の一部を、一般財源から国庫交付金に振り替える財源更生などにより、財政調整基金からの繰入金を7,534万1,000円減額計上するものです。議案第109号土浦市一般会計補正予算（第8回）の歳入予算補正の説明につきましては、以上でございます。

○平石委員長 はい御説明ありがとうございました。それでは委員の皆様から御質問等ございますでしょうか。

○吉田（千）委員 民生費国庫交付金２目のことについてなんですけれども、これは全額国から７万円の低所得者に対する国庫交付金と伺いました。これなんです、いつ頃国から降りてきて、具体的にですね、その辺はお伺いすることができないですかね。それで具体的に低所得者に対して、この国庫交付金ですね、どのようないつ行われるのかその辺がもしお答えできれば。

○山口財政課長 まずですね、こちらの国庫交付金でございますけれども、すでに国の補正予算のほうはおっておりますので、こちらの準備ができ次第、交付金のほうはこちらの方に支給されるのではないかと思います。低所得者への給付につきましては担当課長の方から説明していただきます。

○坂本社会福祉課長 こちらの方なんです、住民税非課税世帯に対して７万円の給付の方、１世帯当たり７万円の給付のほうに関しましては、１月の中旬には通知を。前回３万円を給付した家庭の方には、世帯の方には通知をしまして、２月上旬には７万円を口座の方に振り込むという形になります。それ以外の転入者とか、そういった方に対しては、１月の下旬から、こちらの確認書を送付しまして、返答があり次第、給付の方をしていくというような形になっております。

○吉田（千）委員 ありがとうございます。前回の３万円給付という、そういう流れがあったので、その方達たちに対してはスムーズに、１月中旬ぐらいからの予定でという話で。その他、転入者、そういった方に対しては、そのあとに手当をしていくという、そういう流れだということでしょうか。

○坂本社会福祉課長 はい。１月の中旬に振り込みますというような通知をいたしまして、例えば口座が変わったとか、そういった連絡がございますので、その期間を設けまして、２月の中旬に振り込むような形になります。

○吉田（千）委員 ありがとうございます。そうしますとわかりました。転入者とか、そういう方が途中にこられた場合に限ってのところはすいません。もう一度ちょっとお伺いできればと存じます。

○坂本社会福祉課長 今回の給付金のほう、基準日が１２月の１日ですので、１２月１日現在土浦市、市民であったということになりますので、抽出をした結果で転入者の方には確認書という形でお送りしまして、確認書の返答があり次第、振り込みの手続きをしまして、振り込むという形になります。

○福田委員 わかる範囲で教えてもらいたいんですが、現在のですね、財政調整基金積立金はいくらぐらいになりますか。

○山口財政課長 財政調整基金の総額という質問でよろしいかと思います。今回の補正予算、こちらの方が可決といいますか認められた場合には、総額で７２億９，２００万円あまりが財政調整基金はあるということでございます。以上でございます。

○海老原委員 先ほど吉田議員のですね、関連ですが、今日の全協で交付税のですね２回にわたって、１２億８，０００万のうち、今月が８億８，５００万で、残が３月ので

すね、金額が3億9,600万。7万円、合計で12億で7万円掛けるの世帯数だよ。今回は12月は8億8,000だけど。足んない分はどうするのかな。

○山口財政課長 全員協議会の中ではですね、3月に改めて残額を計上するという説明がなされたかと思えますけれども。実はですね、こちら事業費の総額は海老原議員おっしゃる通り12億8,000万円あまりでございます。今回交付限度額として示されたものはですね8億8,000万ということでございますけれども、こちらの方は俗に概算払いというような形って支払われるものでございまして、基本的にはですね、全額が国費で賄われるということでございますので、最後に精算が行われて全額こちらの方に交付金が交付されるということで、予算上は大変申し訳ございませんけれども全額交付金を充てておりますので、12億の予算に対しまして12億の交付金を予算計上しているというものでございます。説明以上でございます。

○古沢委員 9月議会で学校給食費補正2億4,000万だっけ。行われてますね。これ見るとこれ、国から1億2,000万円が来るということは、本当マイナス補正すること。歳出の。

○山口財政課長 9月補正でですね給食費の無償化をいたしました分は金額といたしましては2億7,000万円あまりとなっております。今回交付金の方、1億2,000万円あまりをですね、充当するということで、これはもともと給食費の無償化分に対して交付金がおりにきたというのではなくてですね、推奨メニュー事業分といたしましていろいろな事業を行った結果、残額が生まれたものですから、そちらの方を交付金として給食費の無償化に充てるということになります。もともと一般財源で負担をするというふうに充当していたものですから、一般財源が押し出されるような形で、財政調整基金の方の繰入金を減らすといった形になります。以上でございます。

○鈴木委員 今の古沢委員の質問に関連してくるんですけども、そもそもこの重点支援地方交付金、今財政課長がおっしゃったように、推奨メニューがあつて、推奨メニューごとに割り振って行って、残りを学校給食に充てたと。で、足りない分は市の一般財源から繰り入れをしてると。でもそもそも、市長が決断された背景とか、私たちが賛成をした背景には、当時の自民党の方がある程度無償化を約束しているから、国から全額来るものと思って、私たちは賛成をしたわけです。ところが、これ半分ぐらいしか来てないということで、とりあえず、市の方で一般財源から繰り入れして財源を賄っている状態なんだけど、今後、給食費の分はきちんと国から来るような約束なり担保なり何かそういう情報は全く現在のところないですか。どうでしょうか。

○山口財政課長 今年度ですね、給食の状況について全国的な調査が行われているというふうに伺っております。ですので来年度以降、給食費の無償化分について手当がされるのかどうかについては現在のところ情報というのはこちらの方にはきておりません。もともと給食が完全給食しているところと、部分給食或いは給食を行ってないところもありますので、そういったものの整理が必要なんだというふうに思っております。以上でございます。

○鈴木委員 ということは、これは独り言みたいな話だから答えなくていいんだけど、

私たちは国からくるものと思って、賛成をしたと。その責任はあるわけですよ。だから、そういったものを議会として、今後議会じゃなくても、国に要望していく必要はあると思うんで、これは全議員の皆さん、ちょっと私たちが賛成した経緯というのをもう1回、思い起こしていただいて、3月議会でもいいんで、そういった意見書を国に提出をする流れというのを作っていただきたいということで、これは全議員の皆さんに認識をしていただきたいということで。これはこっち側の話なんで、執行部の方は答弁は結構ですから。

○奥谷委員 2目の国庫負担金の中の、2節3節4節、それぞれ重点支援地方交付金が割り当てられたということだと思うんですけども、これそれぞれの障害者福祉だったり老人福祉、あとは保育園、一律に各施設に交付されるものなのか。それともそれぞれの施設の利用者だったり規模によって配分が変わるのか。そのあたりちょっと教えていただけますか。

○山口財政課長 障害者福祉施設それから老人福祉施設につきましてはですね、まず事業所当たりの単価って交付がされる部分と、それからですね定員に対して1名当たりいくらかという部分もございますので、それを合わせて交付がされるというものでございます。医療系に関しましては、やはり1ヶ所当たりいくらかということで病床数が多くなれば単価も高くなっているというような状況でございます。以上でございます。

○矢口副委員長 今回の重点支援地方交付金の性質というか、どういうものなのか、また改めてお伺いしたいと思います。今朝の全協の資料を今開いてるところなんですが、2の推奨事業メニュー分という方を伺います。3つここには1から3まで示されてますけど国から来てる方も、やはりこの3つに限られてるのかとか。この中の1エネルギー食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援。そんなの説明書きには、小中学校における学校給食費の支援というふうにうたわれてますね。こういったふうになんかのような使い方ができるのか、ここに示されてるだけなのか、それとももっといろいろメニューがある中で本市ではこの3つを選んだのか。もうちょっとこの性格について御説明いただければと思うんですが。

○佐々木政策企画課長 今これまでも話したとおり低所得者にまず速やかに支援するっていった話とですね。もう一方で、今話したですね、推奨事業メニューってことで、推奨事業面についてはですね、このほかにも農業者ですとか、そういった支援もですね推奨メニューには載ってるところでございます。その中でですね、我々の方で内部で検討してですね、今回支援する事業がですね、今回の補正で上げてる事業、そういったものでございます。以上でございます。

○山口財政課長 ちょっと補足して説明をさせていただきますと、新型コロナウイルス関係の臨時交付金と同様でございまして、地方自治体が地域の実情に応じてですね事業を決められるということになってございます。推奨メニューはいくつか示されてはおりますけれども必ずしもそれでなくても構わないだとか、ただ国としてこういったものに交付してはどうですかというような推奨されているという中から今回こういった事業を選んで打ち出しをして実施したいということでございます。以上でございます。

○矢口副委員長 ありがとうございます。もうちょっと突っ込んで聞かせてください。学校給食費に充てた分の考え方なんですけど、ここに書いてあるのは小中学生の保護者の負担を軽減、物価高騰によると書いてある。ただ、給食費そのものに関しては、今回、物価高騰によって、保護者の負担は増えてないですね。ということは、考え方としては日頃の家庭での物価高騰分を、給食費を立て替える、こちらで建て替えることによって結果的に、保護者の負担が減るんだよってという考え方なんじゃないかな。

○山口財政課長 推奨メニューの中にはですね、物価高騰による給食費の増額分っていうふうに示されてはおりますけれども、この高騰分に対しても公費負担するのは実は増えてはおります。今回増やしてるわけではないんですけれども、そういった部分も含めまして給食費の無償化分に土浦市としては充当したいという考え方でございます。以上でございます。

○平石委員長 その他、皆さんよろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 それではないようでございますので賛否を確認させていただきたいと思えます。予算の歳入について、賛成とする方は挙手をお願いいたします。

【挙手：全員（２０名）】

○平石委員長 ありがとうございます。全員賛成でございます。議案第１０９号の歳入については全員賛成でございました。それでは次の予算決算委員会全体会までに、歳入についての報告書をまとめてまいります。つきましては報告書に盛り込みたい意見等ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 無いようですので、様々ありましたけれども、先ほど様々出た御意見を一任ということで、まとめさせていただきたいと思えます。それでは最後に今後の予定を申し上げさせていただきたいと思えます。次回の予算決算委員会全体会は、１２月１９日火曜日、午前１０時から、第１委員会室にて行います。それでは本日は慎重な審査をいただきまして、ありがとうございました。これにて予算決算委員会を閉会いたします。御苦労さまでした。